

## INFORMATION ほか

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2018-06-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/00051116">http://hdl.handle.net/2297/00051116</a>

## 平成29年度 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科(修士課程)修了者一覧

学位授与年月日, <sup>ふりがな</sup>氏名, 所属研究分野, 修士論文名

平成30年3月22日 <sup>あさの ゆうや</sup>浅野 雄哉 血管分子生理学  
マクロファージにおけるスフィンゴシン-1-リン酸2型受容体(S1P2)の欠損は肺線維症の増悪を引き起こす

平成30年3月22日 <sup>おおわだ みか</sup>大和田 美佳 システム生物学  
EpCAM陽性肝がん幹細胞によるCCL20-CCR6経路を介した宿主免疫制御機構に関する検討

平成30年3月22日 <sup>かわさき ゆうき</sup>川崎 悠貴 機能解剖学  
ラット膝内側副靭帯に分布する神経の肉眼解剖学的ならびに免疫組織化学的検討

平成30年3月22日 <sup>きたやま みお</sup>北山 未央 麻酔・集中治療医学  
急変患者を予測するNational Early Warning Scoreの有用性

平成30年3月22日 <sup>たかはし とおる</sup>高橋 徹 分子神経科学・統合生理学  
Generation and optogenetic characterization of mice in which QRFP-containing neurons selectively express Cre recombinase (QRFPニューロン特異的Cre発現マウスの作製と光遺伝学的解析)

平成30年3月22日 <sup>はら あすみ</sup>原 あすみ 腫瘍動態学  
MET受容体活性の構造基盤:二量体形成におけるドメイン機能の研究

平成30年3月22日 <sup>ふなおか かな</sup>鮎岡 加奈 腎臓内科学  
腎障害進展にはたすKif26bの役割

平成30年3月22日 <sup>も ひ で い ん もはめど</sup>MOHIUDDIN MD 分子遺伝学  
Polymorphisms of APOBEC3H influence the antiviral activity of hepatitis B virus (抗ウイルス因子APOBEC3Hの多型とB型肝炎ウイルス複製阻害活性の検討)

平成30年3月22日 <sup>やまだ たけし</sup>山田 長司 システム生物学  
膵管腺癌(PDAC)マウスモデルにおけるGemcitabineにより誘導される免疫応答の特徴

平成30年3月22日 <sup>よしだ くにたか</sup>吉田 邦嵩 寄生虫感染症制御学  
ウイルスベクターを用いた新規ワクチンプラットフォームによる熱帯熱マラリアワクチンの開発研究

### 生化学特別セミナー

日本学術振興会・頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム「慢性炎症と線維化をきたす生体ネットワークの解明とその制御の国際研究拠点形成」事業推進における共同研究推進のため、米国ハーバード大学医学部ジョスリン糖尿病センターより Jongsoo Lee 助教授を金沢大学にお招きし生化学特別セミナーを行う。講演タイトルは、「The role of natural killer (NK) cells in the development of obesity-induced insulin resistance and Type 2 Diabetes」で、肥満・2型糖尿病発症における炎症細胞の役割についての講演となる。学類学生、大学院生、研究者・教員スタッフ、そして広く興味のある方々が対象となる。

日時：2018年2月27日(火) 17:00～18:00

場所：金沢大学医学図書館2階 十全記念スタジオ

主催：血管分子生物学分野 山本靖彦 TEL 076-265-2181

### 学際科学実験センターサイエンスセミナー

日時：平成30年3月20日(火) 17:00～18:35

場所：宝町医学部記念館2階 プレゼンテーションルーム

講師・演題：仲野 徹 先生 大阪大学大学院 医学系研究科 病理学 幹細胞病理学「秘伝！論文の書き方、通し方」

講師略歴：1981年大阪大学医学部医学科卒業、内科医として勤務の後、1984年大阪大学医学部助手。ヨーロッパ分子生物学研究所(EMBL)客員研究員を経て、1991年京都大学医学部講師。1995年大阪大学微生物病研究所教授、2004年より現職。

対象：学生及び教職員

申込：不要

連絡先：金沢大学学際科学実験センター ゲノム機能解析分野 目黒牧子 (mhorike@staff.kanazawa-u.ac.jp) TEL 076-265-2775

### 脳神経医学セミナー

タイトル：脳神経医学セミナー「脳の形成と機能に必須の分泌タンパク質リーリンの機能解明と、その疾患治療への応用」

講演者：名古屋市立大学大学院薬学研究科病態生化学分野 服部 光治

哺乳動物の脳では神経細胞は層構造を形成しており、これは正常な機能発現に必要である。層構造が極めて異常な突然変異マウス「reeler」についての研究は60年以上の歴史があるが、このマウスで欠損する巨大分泌タンパク質「リーリン」の機能の全貌は未だ理解されていない。また近年、リーリンの「機能低下」が精神神経疾患の発症や増悪化に寄与することが多く報告されている。しかし、リーリンの機能低下と疾患をつなぐ分子メカニズムは完全には理解されておらず、また、どうすればリーリンの機能低下を防げるのか、その方策も大きな課題となっている。

我々は、脳の形成と機能におけるリーリンの機能とその調節機構を理解することを目的に研究を進めてきた。そして最近、リーリンの新規受容体の候補を同定し、これを介して層構造形成の最終段階が制御されていることを見いだした。また、大脳においてリーリンを不活化するプロテアーゼの同定に成功した。この酵素の阻害剤はリーリン機能を増強し、精神神経疾患を改善する可能性がある。今回はリーリン研究の歴史と現状を踏まえて我々の知見を紹介し、残された問題を解決するには何が必要なのかを議論したい。

場所：金沢大学医学部F棟1階 修士セミナー室

日時：2018年3月27日

主催：金沢大学医薬保健研究域医学系脳神経医学

連絡先：金沢大学 医学系 脳神経医学研究分野・河崎洋志

TEL 076-265-2365, e-mail kawasaki-sec@med.kanazawa-u.ac.jp

## 第32回 Neuroscience Seminar

「Failure of intramural periarterial drainage of fluid as a therapeutic target for Alzheimer's disease」

Clinical Neuroanatomy, University of Southampton, UK

Professor Roxana Carare

開催日時：平成30年3月30日(金)17時30分～18時30分

開催場所：金沢大学医学類小会議室(B棟1F)

このたび、英国Southampton大学教授のRoxana Carare先生をお招きし、下記のセミナーを開催します。Carare教授は同大学臨床神経解剖学の教授で、アミロイドβ蛋白といった脳内の物質が、血管周囲のドレナージ経路から脳外へ排出されていることに関する研究で世界をリードしている研究者です。

今回、熊本で開催されるISA2018で来日されるのに合わせまして、金沢大学でのご講演をお願いいたしました。血管周囲ドレナージ経路の障害とアルツハイマー病発症との関連や、血管周囲ドレナージ経路をターゲットとした治療法開発の可能性について、大変興味深いお話をお聞きすることができると思います。どうぞお気軽にご参加ください。

連絡先：脳老化・神経病態学 TEL 076-265-2293 E-mail neurojim@med.kanazawa-u.ac.jp

## 生化学セミナー

日本学術振興会・頭脳循環を加速する戦略的国際研究ネットワーク推進プログラム「慢性炎症と線維化をきたす生体ネットワークの解明とその制御の国際研究拠点形成」事業推進における共同研究推進のため、米国ハーバード大学医学部ジョスリン糖尿病センターよりSteven E Shoelson教授を金沢大学にお招きし生化学特別セミナーを行う。講演タイトルは、「Obesity-induced Inflammation: Potential Pathogenic Mediator and Pharmacologic Target in Type 2 Diabetes and Cardiovascular Disease」で、肥満・2型糖尿病発症そして心血管病変進展における炎症の役割と治療標的についての講演となる。学類学生、大学院生、研究者・教員スタッフ、そして広く興味のある方々が対象となる。

日時：2018年4月10日(火)午後5時～6時

場所：金沢大学医学図書館2階十全記念スタジオ

主催：血管分子生物学分野・山本靖彦

## 遺伝子改変動物分野サイエンスセミナー

平成30年4月27日(金) 17時より、金沢大学附属医学図書館2階 十全記念スタジオにて、遺伝子改変動物分野サイエンスセミナーを開催いたします。講演をしてくださるのは、新潟大学脳研究所 システム脳病態学 特任教授の上野将紀先生で、ご講演のタイトルは「中枢神経の障害による神経回路の再編と機能の変容」です。

問合せ先：学際科学実験センター 遺伝子改変動物分野(実験動物研究施設)

TEL:076-265-2460 FAX:076-234-4240 E-mail: tdaikoku@kiea.m.kanazawa-u.ac.jp

## 機能解剖学セミナー

日時：平成30年5月16日(水) 17:00～18:00

場所：金沢大学医学類教育棟1階 第二講義室

演題：「脳内軸索-棘シナプス結合の微細構造相関解析とその応用」

深澤有吾先生 福井大学学術研究院 脳形態機能学領域 教授

連絡先：金沢大学医薬保健研究域医学系機能解剖学分野 尾崎紀之

TEL: 076-265-2156 FAX: 076-234-4221

軸索-棘シナプス結合は機能的且つ構造的に高い可塑性を示し、学習・記憶、更には、神経疾患との関連性が高い。従って、このシナプスの形成と機能を支える分子機構の理解が、神経系による情報処理機構や疾患の理解に欠かせない。深澤有吾先生は、この種のシナプス結合の構造情報を収束イオンビーム搭載型走査型電子顕微鏡観察像の定量的解析を通して明らかにすることで「軸索-棘シナプス結合まるごと」の設計図を明らかにし、この設計図を基に各遺伝子産物のシナプス構築における役割を同定することを試みられている。本セミナーでは、これまでの解析結果で得られた軸索-棘シナプスの構築則と、これまでに得られた新たなシナプス構造異常についてご紹介いただき、本手法による遺伝子機能や病態解析への有用性について議論された。

### 幹細胞生物学セミナー

日時 2018年5月18日(金) 17:30～19:00  
 場所 医学図書館 十全記念スタジオ  
 演者 阿形 清和 先生 (学習院大学 生命科学科 教授)  
 演題 プラナリアやイモリに学ぶ再生原理と再生医療  
 連絡先 再生分子医学 赤木紀之 <tadayuki@staff.kanazawa-u.ac.jp>

### 脳神経医学セミナー

タイトル: Investigating circuit-level defects in epileptogenic cortical malformations  
 講演者: INMED INSERM: Dr. Jean-Bernard Manent  
 Dr. Manentは大脳皮質の発達異常が原因となるてんかんの病態を研究されている気鋭の若手研究者です。今回、金沢にお越し頂く機会を得ましたので、最新の研究成果をお話し頂きます。奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。  
 場所: 金沢大学医学図書館2階十全記念スタジオ  
 日時: 2018年5月28日  
 主催: 金沢大学医薬保健研究域医学系脳神経医学  
 連絡先: 金沢大学 医学系 脳神経医学研究分野・河崎洋志  
 TEL 076-265-2365, e-mail kawasaki-sec@med.kanazawa-u.ac.jp

### 第11回MRTプログラム・リトリート

第11回MRTプログラム・リトリートを開催。MRTプログラムとはMedical Research Trainingの頭文字をとったプログラムのことで、明日の医療を開拓する人材(研究医)を育成することをミッションとしている。このプログラムは、医学類の正式科目と並行して、希望する学生が授業の空き時間や夕方以降、休暇期間を利用して、各研究室で行われている研究・ゼミナール・論文講読会等に参加するものである。今回は第11回目のリトリートで今年度としては1回目となる。MRTプログラム参加学生・関連学生、教員スタッフ、興味のある方々に広く開放して日頃の成果や今後の抱負を語りあう会となる。

日時: 2018年6月26日(火)午後6時開始  
 場所: 金沢大学医学図書館2階 十全記念スタジオ  
 主催: MRTプログラム実行委員会、MRT担当教員

### 神経分子標的学セミナー

演題: 血管の正体 -多能性幹細胞となった血管細胞の特性とその臨床応用の可能性-  
 演者: 松山知弘 先生 (兵庫医科大学 名誉教授/先端医学研究所 神経再生研究部門 先進脳治療学 教授)  
 日時: 平成30年6月27日(水) 18:00-19:30  
 場所: 金沢大学医学類 第2講義室  
 問い合わせ先: 金沢大学医薬保健研究域医学系 神経解剖学(解剖学第三) 堀 修  
 Tel: 265-2162, E-mail: osamuh3@staff.kanazawa-u.ac.jp

松山先生は、これまでにマウス脳梗塞後の脳血管ペリサイトがリプログラミングを受けて多能性幹細胞になること、更にそれらが神経細胞、アストロサイト、ミクログリアなど脳内のほとんどの細胞に分化することを報告されました。今回のセミナーでは、傷害脳で特異的に誘導されるこの多能性幹細胞が実際に脳梗塞後の新たな治療標的になり得ることを発表して頂きました。

## 第65回トキシンシンポジウム

テーマ：生物毒素および生理活性物質に関する最新の知見・研究成果を共有する

開催日：平成30年7月11日(水)～7月13日(金)

場所：KKRホテル金沢

内容：32演題

- ・哺乳類由来の神経毒の化学生物学研究 北 将樹(名大院生命農・JSTさきがけ)
- ・海洋生物由来新規キヌレニン産生抑制物質の探索 大野 修(工学院大学先進工学部生命化学科)
- ・百日咳起因菌が産生する低分子量物質 渡邊 峰雄(北里大学 北里生命科学研究所医療日生物学研究)
- ・宿主細胞内へ装填されたピロリ菌がん蛋白質 CagAの安定性を規定する宿主細胞分子とその制御 津川 仁(慶応義塾大学 医学部 医化学)
- ・Cholixによる細胞致死機構における新規結合タンパク質の同定と昨日解析 八尋錦之助(千葉大学 医学研究院病原細菌制御学) 等

トキシンシンポジウム連絡先：金沢大学医薬保健研究域医学系細菌学

TEL: 076-265-2200 Fax: 076-234-4230 E-mail: ts65@med.kanazawa-u.ac.jp

## 第5回筋ジストロフィー医療研究会

開催日：2018年10月26日(金)～10月27日(土)

会場：石川県文教会館

大会長：駒井清暢

学術集會事務局：独立行政法人国立病院機構医王病院

TEL: 076-258-1180

E-mail: kinzisuiryou5@ioudom.hosp.go.jp

URL :<http://pmdmr.umin.jp/>

内容：本研究会では、「つなぐ筋ジストロフィー医療」をテーマとして、本領域の研究や診療の進歩を学び、さらなる発展をめざして討論を行います。

特別講演：「今日の筋ジストロフィー医療(仮)」(東京大学名誉教授 石浦章一先生)

川井充メモリアルレクチャー：「わたしと筋ジストロフィーとの関わり(仮)」(箱根病院名誉院長 石原傳幸先生)

教育講演：「炎症性筋疾患(仮)」(山口大学教授 神田隆先生)

シンポジウム1：「リハビリテーションにおけるTransition」

シンポジウム2：「多職種でつなぐ患者・家族の意思決定支援」

シンポジウム3：「基礎と臨床をつなぐTransition」

シンポジウム4：「小児科から成人へのTransition」

メディカルスタッフ立案企画シンポジウム：「療養生活におけるボランティアの存在」

2018  
金沢大学十全医学会

# 総会・学術集会

期日：平成30年6月19日（火）

場所：金沢大学十全講堂

12：40 - 13：00 総会

13：00 - 13：35 第14回 金沢大学十全医学賞受賞記念講演

「全身性強皮症におけるサイトカイン産生B細胞の

機能解析ならびに新規治療法の開発」

金沢大学医薬保健研究域医学系 皮膚分子病態学 講師 松下 貴史 先生

13：45 - 17：50 学術集会『人工知能とロボット技術～近未来の医学と工学の接点～』

「ロボットがもたらした外科手術の変革」

金沢大学医薬保健研究域医学系 泌尿器集学的治療学 准教授 角野 佳史 先生

「自動運転自動車の公道走行実証実験の概要と成果」

金沢大学新学術創成研究機構 未来社会創造研究コア 自動運転ユニット 准教授 菅沼 直樹 先生

「サイボーグ型ロボットHALによる運動機能再生：

治験，保険診療，長期使用効果へ」

独立行政法人国立病院機構 新潟病院 院長 中島 孝 先生

【特別講演】

「人工知能による医療・医学研究の変革」

国立研究開発法人

産業技術総合研究所 フェロー 人工知能研究センター 研究センター長 辻井 潤一 先生

---

◆十全医学賞受賞記念講演および学術集会『人工知能とロボット技術～近未来の医学と工学の接点～』は、  
医学専攻・博士課程共通up-to-dateセミナーとして認定します。

お問い合わせ

金沢大学十全医学会

TEL:076-265-2131 FAX:076-234-4208

E-mail:kenkyu@adm.kanazawa-u.ac.jp

【共催】 NPO法人 消化器病支援機構DDSO



# 金 沢 大 学 十 全 医 学 賞

## 【平成30年度（第15回）金沢大学十全医学賞】 （ 応 募 規 程 ）

**名 称** 本賞を『金沢大学十全医学賞』と称する。

**目 的** 本賞は医学の進歩に寄与する顕著な研究を発表し、なお将来の発展を期待しうる優れた若手研究者に対し、賞を与え顕彰することを目的とする。

**選考対象** 1. 会員歴 5 年以上の中より選考する。(応募時に会員は会費を完納している事)  
2. 応募締切日時時点で 45 歳未満とし、教授およびそれに相当する職位の者は除く。

**応募締切** 平成 30 年 8 月 1 日(水) 必着

**応募書類** 1. 応募申込書と関連研究の別冊 5 編 (オリジナル 1 部, そのコピー 9 部) (author として名前が入っている過去 5 年間) の論文を事務局宛に提出する。提出書類は返却しない。なお, 応募申込用紙は HP からダウンロードするか, 様式 (記載内容) が同じであれば応募者が作成したものを提出してよい。

2. 関連研究業績について

- 1) 過去 5 年間で申請者が発表した論文, 著書のうち, 本研究に関する重要な論文名を 10 件選定する。なお, 論文は掲載が決定しているものに限る。
- 2) 記載は現在から順に発表年次を過去にさかのぼって, 通し番号を付ける。
- 3) 記載する発表論文については, 著者名, 論文名, 掲載誌名, 掲載誌のインパクトファクター, 巻 (号), ページ, 掲載年 (西暦) を記載する。(添付した別冊の番号に○印をつける)
- 4) 著者名が多数にわたる場合は, 主な著者名を 3 名程度記入 (申請者にはアンダーラインを付す) し, 以下を省略する。省略した場合は, 申請者が掲載されている順番及び員数名を記入する。  
例) 申請者名 1, ○○○, …… 他 7 名  
○○○, 申請者名 2, ○○○, …… 他 9 名

3. 研究の概要を 2000 字以内にまとめて記載する。

**選考方法** 1. 会長は会長の委任による選考委員会を設置し, 選考委員会の議を経て授賞者を決定する。  
2. 選考委員会が応募論文を審査の上, 優れた研究者を選出する。

### 表彰および発表

1. 楯, および副賞 **20 万円** を授与する。
  2. 当該年度十全医学会雑誌 3 号に受賞論文に関する総説を掲載する。
  3. 受賞講演を行う。
- ※受賞後であっても虚偽の事実や本要項違反行為が発覚した場合は, 受賞を取り消し, 賞金の返還を求めめる場合があります。

### 申請・提出先

金沢大学十全医学会 (十全医学賞申請)  
〒920-8640 金沢市宝町 13-1  
TEL : 076-265-2131 FAX : 076-234-4208  
E-mail : kenkyu@adm.kanazawa-u.ac.jp  
<http://juzen-igaku.w3.kanazawa-u.ac.jp>



## 【平成30年度 金沢大学十全医学会研究集会補助申請 規約】

I. 会員（申請者）が主催する学会、研究会、シンポジウム、フォーラム、講演会 等に対して行うただし、1000名以上の集会で他の機関からの支援を受ける集会对しては、補助の対象とならない場合がある また、学部学生や大学院生のみに対する特別講義は本補助の対象にはならない

II. 平成30年4月1日～平成31年3月31日までに開催する研究集会を対象とする

III. 補助については、以下の条件を定め、金沢大学十全医学会理事会にて選考する

参加人数	補助金	提出内容
100名以上	4万円	研究集会補助申請書、研究集会開催報告書
20名～99名まで	2万円	研究集会補助申請書

### 1. 申請

- 1) 申請書は<http://juzen-igaku.w3.kanazawa-u.ac.jp>よりダウンロードし、必要事項を記入のうえ、参加人数100名以上の会は開催日1ヶ月前、参加人数20名～99名までの会は開催日10日前までに事務局へ提出する（電子メールにて提出）
- 2) 参加人数は開催期間中の合計延べ人数とする
- 3) 申請の受理については、事務局より受理の有無の連絡がある
- 4) 申請書の500文字は、十全医学会雑誌の**Information**に掲載する
- 5) 申請が受理された場合、ポスター、チラシ、プログラムなどのいずれかに「後援 金沢大学十全医学会」と記載し、1部を事務局に提出する

### 2. 開催報告書

- 1) 参加人数100名以上の研究集会は、閉会后20日間以内に研究集会開催報告書を提出する  
文字サイズ9pt（行間14pt） 2400字程度  
写真（開催した事がわかる写真） 2枚 （電子メールにて提出）  
報告書の提出がない場合、受理の取消しとなる場合がある
- 2) 報告内容は十全医学会雑誌最新号に掲載する
- 3) 99名までの研究集会の申請ならびに補助申請を伴わない場合は、開催報告書の提出は任意とする

3. 補助を受けた会員（申請者）は、十全医学会が主催する総会・学術集会（年1回）への参加を義務とする（学外会員はその対象ではない）

4. 補助費は研究集会閉会后に支給する

参加人数100名以上の研究集会（会員）に対しては、開催報告書の提出後に支給する。

5. 会員は、年会費を完納していることを義務とする

6. 提出先：金沢大学十全医学会 事務局

〒920-8640 金沢市宝町13-1

金沢大学医薬保健学総合研究科医学系（F棟1階 医学学務係内）

TEL：076-265-2131 FAX：076-234-4208

E-mail：kenkyu@adm.kanazawa-u.ac.jp

## 投 稿 規 定

1. 本誌は、十全医学会会員の未発表の原著を中心とするが、総説、学会記事および抄録、書評、雑報、その他も掲載する。
2. 和文の場合は、すべてA4判大で600字(30字×20行)とする。原本とそのコピー1部(表図も同様)、雑誌投稿用紙、電子媒体(FD, CD-R, MOのいずれか)を添え事務局まで提出する。
  - 1) 電子媒体には氏名、住所、連絡先(電話番号)および使用したソフト名を記入すること。  
〈文字データ〉Word, 一太郎 等。ファイル形式はテキスト保存。その他ワープロソフトでもテキスト保存であれば、可。  
〈写真データ〉Photoshop, Photoshop LE, Power Point 等。ファイル形式はEPS, JPEG保存。その他の画像ソフトでも保存形式がEPS, JPEG, TIFFであれば、可。  
〈表データ〉イラストレーター, Excel。イラストレーターについてはVer.8.0に下位保存、文字のアウトライン化にすること。
  - 2) 特殊な記号や外字などはソフトウェア相互の規格の不統一によって、正しい変換が行なわれない(文字化け)ケースが多々あるので、校正時には特に注意する。
  - 3) 英単語の途中での改行のハイフンは入力しないこと。
3. ヒトゲノム・遺伝子解析、および動物実験を含む論文の投稿に際し、投稿時には、当該研究の許可通知書のコピーを添付し、論文中に研究許可年月日、許可番号、課題名を記載する。
4. 原稿の編成順は以下のとおりとする。

(表題ページ) 表題、所属、氏名、25字以内の略題、連絡先を表示し、これを第1ページとし、原稿すべてに通しページをつける。  
(和文抄録) 600字にまとめ、英文抄録の内容と一致すること。  
(Key words) 5個以内の英語または邦語とする。  
(略語: Abbreviations) 本文中の外来略語とそのフルスペリングを略語のアルファベット順に記載する。日本語略語は、これに続けてアイウエオ順に記載する。ただし、別掲の略語は、Abbreviation欄に挙げる必要はない。また、本文中でも邦語やフルスペルを示す必要はない。  
(本文)  
(英文抄録: Abstract) 英文の表題、氏名、所属、Key Wordsに続いて記載し、段落を作らず全文を続けて書くこと。  
(表: Table, および図: Figure)  
(図の英文説明: Legend)
5. 本文の構成は、次のごとくとする。ただし、原著以外はこの限りではない。

緒言(見出しなしで始める)、対象(または材料)および方法、成績、考察、結論、謝辞、文献。対象および方法、および成績の章は、なるべく項目を挙げて説明する。
6. コンマ、ピリオド、括弧などは、すべて1字として扱うこと。単位の略語記号としてg, l, m, sec, min, hr, °C, M (=mol/l), A, V, Ω, S (siemens=1/Ω), Da (=dalton), b (=base), LD<sub>50</sub> (median lethal dose), cpm (counts per minute) などを用いる。各略字の後にピリオドをつけない。各単位を1000倍することに、その前にk, M, Gをつける。また1/1000倍することに、m, μ, n, p, fをつける。ただしcmとdlを使うのは差支えない。(本文中の時間の単位は、原則として日本語とする。ただし、msecはこの限りでない。)
7. 章、節、項などの区分は、それぞれI, 1, 1) i, a, a)の順にこれらの記号を用いる。
8. 文献は本文中に引用した順に記載し、文献欄には論文の題名をフルタイトルで書き、ページの始めと終わりを入れ、原著および単行本については下記の投稿例に従って記載する。文献数は、なるべく必要度の高い文献のみを記載し、50以上にならないようにする。
  - 1) Zarrow MX, Holmstrom EG, Sahlnick HA. The concentration of relaxin in the blood stream and other tissues of women during pregnancy. *J Clin Endocrinol Metab* 14: 22-27, 1955
  - 2) 奥村隆俊, 光村利一, 中西真澄. 瀉血血糖過剰の機作用について. *日内会誌* 14: 273-275, 1926
  - 3) Bull HG. *Physiological Biochemistry*, 2nd ed, p97-107, John Wiley & Sons Inc, New York, 1951
  - 4) Leibovitz B, Siegel BV. Ascorbic acid and the immune response. *In* M Philips, A Baetz (eds), *Diet and Resistance to Disease*, 1st ed, p1-25, Plenum Press, New York, 1981
  - 5) 早田 勇. 染色体標本作成法. 実験動物の血液学(小林好作, 平嶋邦猛, 関 正利編), 第1版, 281-293頁, ソフトサイエンス社, 東京, 1981引用雑誌の略名は、World List of Scientific Periodicals (London Butterworth, 1963), World Medical Periodicals (World Medical Association, 10 Columbus Circle, New York 19, N. Y. U.S.A. 1961), List of Journals Indexed in Index Medicus (各年度発刊), Excerpta Medica List of Journals Abstracted (各年度発刊), Serial Sources for the Biosis Data Base (各年度発刊), 医学中央雑誌収載誌目録(各年度発刊), 日本自然科学学術雑誌総覧(日本医学図書館協会編, 学術書出版会刊, 1969)などによること。

本文中では、引用文献の著者名、または内容の右肩に<sup>12)</sup>……などの番号を書き、文献欄との照合を容易にすること。ただし、引用文献が3つ以上連続するときは、<sup>3)~7)</sup>などと書くこと。引用文献の著者が複数あるときは、筆頭者名のみを書き、それに“ら”を付す。原則として、年号は、はぶく。  
〔例〕Zarrow MX, Holmstrom EG, Sahlnick HA. は、Zarrowら<sup>1)</sup>とする。
9. 表 (Table) は英語でタイプをする。表の上にTable 1, Table 2. ……と通し番号をつけ、続いて英文表題を書く。説明文は、表の下に直接タイプする。本文中では表1, 表2……と書く。
10. 図が原稿のみの場合、そのまま製版できるまでに仕上げる。図(写真を含む)の下にFig. 1, Fig. 2. ……と通し番号をつける。説明文は英文とし、図とは別に一括してタイプする。ただし、本文中では、図1, 2……と書く。
11. 図、表などの挿入位置は、本文原稿の右欄外に指定しておく。
12. 著者の校正は、2回限りとし、誤植の訂正だけにとどめ、内容の訂正をしてはならない。
13. 本文、表、図、写真、別刷りなどの費用は、著者の負担とする。
14. 以上の規定にそわない原稿は、掲載を拒否することがある。原稿の作成にあたっては、金沢大学十全医学会 <http://juzen-igaku.w3.kanazawa-u.ac.jp> の投稿規定を参考にする。
15. 問合せ先 金沢大学十全医学会事務局  
TEL 076-265-2131 FAX 076-234-4208  
E-mail: kenkyu@adm.kanazawa-u.ac.jp

本誌に掲載された著作物(又は報文を含む)の著作権は本学会に帰属する。

## Instructions to authors

Submissions considered for publication in Journal of the Juzen Medical Society are received on the understanding that they have not been accepted for publication elsewhere and that all of the authors agree to the submission. Reviews, articles and abstracts of the society, and others are received. Manuscripts should be read by colleagues who are proficient in English before submission.

### I . Submission of manuscripts

- 1) Submit manuscripts in two (one original and one copy) with a floppy disk, an MO or CD-R disk (on Windows or Macintosh format), which recorded your manuscript in text style. We can accept image and table formats as follows.

#### Image formats

- Photoshop (.eps)
- Photoshop LE (.eps)
- PowerPoint (.eps, .jpeg)
- Others (.eps, .jpeg, .tiff) are accepted.

#### Table formats

- Adobe Illustrator (eps; save as under Ver. 8.0)
- Excel

- 2) Complete style printed manuscripts on white A4 paper, without hyphenation, with 2.5 to 3 cm margins on the right and left sides, 4 cm margins on the upper and lower sides, double spaced copies including figures and tables must accompany the disk.
- 3) Special characters such as italics, bold subscript, superscript, Greek letters, mathematical symbols etc. should be clearly indicated.
- 4) It is important that authors should receive permission of human experiments or animal experiments from Ethical Committees of School of Medicine in Kanazawa University before submission.
- 5) When the manuscript is accepted for publication, the authors must agree to automatic transfer of copyright to the Juzen Medical Society.

### II . Manuscript format

The manuscript should be set out with the following sections beginning on a new page

- 1) title page including title of paper; full names, affiliations of all cited authors, running title (not exceed 30 words), corresponding author's name, full mailing address, telephone number, fax number, and e-mail address; present address of authors
- 2) abstract must not exceed 250 words in one paragraph, within 5 key words (small letters except a proper noun), and abbreviations; (authors should note abbreviations except in a table of abbreviations)
- 3) text and acknowledgments
- 4) references
- 5) figure legends
- 6) tables with their legends.

Manuscripts should be organized and numbered consecutively as follows;

- 1) title page
- 2) abstract

- 3) introduction
- 4) materials and methods
- 5) results
- 6) discussion
- 7) acknowledgment
- 8) reference list
- 9) tables
- 10) legends to figures
- 11) figures in that order.

Drawings and charts for reproduction should be black and laser printed. Photographs (maximum 8 cm in width x 24.5 cm in length of one column, or 16 cm in width 24.5 cm in length of two columns) and drawings should be numbered and the authors should indicate either of the two. Color illustrations are acceptable, however, the authors are requested to pay the extra publication costs. Abbreviations should conform to the style accepted in the Japanese Medical Sciences and used in Journal of the Juzen Medical Society and the Quarterly Cumulative Index Medicus.

### III . References

Number references consecutively in the order in which they are first mentioned in the text. Identify references in text, tables and legends by Arabic numerals superscript (e.g. Kanazawa<sup>1)</sup>, Kanazawa K<sup>2)3)</sup>, Kanazawa K<sup>4)6)</sup> etc.) All references cited, and only these, must be listed at the end of the paper. All authors' names should be listed. Abbreviations of journals must conform to those used in Index Medicus of the National Library of Medicine. The format should conform to the examples listed below:

References to a journal:

- 1) Zarrow MX, Holmstrom EG, Sahnick HA. The concentration of relaxin in the blood stream and other tissues of women during pregnancy. *J Clin Endocrinol Metab* 14; 22-27, 1955

References to a book

- 2) Bull HG. *Physiological Biochemistry*, 2<sup>nd</sup> ed, p97-107, John Wiley & Sons Inc, New York, 1951
- 3) Leibovitz B, Siegel BV. Ascorbic acid and the immune response. In M Philips, A Baetz (eds), *diet and Resistance to Disease*, 1<sup>st</sup> et, pl-25, Plenum Press, New York, 1981

If the manuscript will be accepted, author corrects only factual errors and printer's errors, and other changes will not be permitted. Author will be charged for text, color figures and reprints.

### IV . Submit and inquiry office:

Complete 2 sets of manuscripts, including 2 sets of figures, should be sent to

Editorial Office of Journal of the Juzen Medical Society  
Kanazawa University, 13-1 Takara-machi, Kanazawa, Ishikawa  
920-8640, Japan

Tel: 076-265-2131, Fax: 076-234-4208

E-mail: kenkyu@med.kanazawa-u.ac.jp

## Table of Abbreviations

Abbreviations	Full spellings	Abbreviations	Full spellings
《Chemicals》			
AMP	adenosine 5'-monophosphate	NADP	nicotinamide-adenine dinucleotide phosphate
ADP	adenosine 5'-diphosphate	NADPH	reduced form of nicotinamide-adenine dinucleotide phosphate
ATP	adenosine 5'-triphosphate	NTP	nucleotide triphosphate
Ala	alanine	PBS	phosphate buffered saline
Arg	arginine	Phe	phenylalanine
Asn	asparagine	Pro	proline
Asp	aspartic acid	RNA	ribonucleic acid
CMP	cytidine 5'-monophosphate	RNase	ribonuclease
CDP	cytidine 5'-diphosphate	cRNA	complementary ribonucleic acid
CTP	cytidine 5'-triphosphate	mRNA	messenger ribonucleic acid
Cys	cysteine	rRNA	ribosomal ribonucleic acid
cAMP	adenosine 3', 5'-cyclic monophosphate	tRNA	transfer ribonucleic acid
cGMP	guanosine 3', 5'-cyclic monophosphate	SDS	sodium dodecyl sulfate
dAMP	deoxyadenosine 5'-monophosphate	SSC	standard saline citrate
dADP	deoxyadenosine 5'-diphosphate	Ser	serine
dATP	deoxyadenosine 5'-triphosphate	TMP	thymidine 5'-monophosphate
dCMP	deoxycytidine 5'-monophosphate	TDP	thymidine 5'-diphosphate
dCDP	deoxycytidine 5'-diphosphate	TTP	thymidine 5'-triphosphate
dCTP	deoxycytidine 5'-triphosphate	Tris	tris (hydroxymethyl) aminomethane
dGMP	deoxyguanosine 5'-monophosphate	Thr	threonine
dGDP	deoxyguanosine 5'-diphosphate	Trp	tryptophan
dGTP	deoxyguanosine 5'-triphosphate	Tyr	tyrosine
dNTP	deoxyribonucleotide triphosphate	UMP	uridine 5'-monophosphate
dTTP	deoxythymidine 5'-triphosphate	UDP	uridine 5'-diphosphate
dUTP	deoxyuridine 5'-triphosphate	UTP	uridine 5'-triphosphate
ddATP	dideoxyadenosine 5'-triphosphate	Val	valine
ddCTP	dideoxycytidine 5'-triphosphate		
ddGTP	dideoxyguanosine 5'-triphosphate	《Methods》	
ddTTP	dideoxythymidine 5'-triphosphate	CT	computed tomography
DNA	deoxyribonucleic acid	ELISA	enzyme-linked immunosorbent assay
DNase	deoxyribonuclease	HE	hematoxylin and eosin
cDNA	complementary deoxyribonucleic acid	MRI	magnetic resonance imaging
DOPA	3, 4-dihydroxyphenylalanine	PAGE	polyacrylamide gel electrophoresis
EDTA	ethylenediaminetetraacetic acid	PCR	polymerase chain reaction
GMP	guanosine 5'-monophosphate	RT-PCR	reverse transcriptase-polymerase chain reaction
GDP	guanosine 5'-diphosphate		
GTP	guanosine 5'-triphosphate	《Statistics》	
Gln	glutamine	ANOVA	analysis of variance
Glu	glutamic acid	SD	standard deviation
Gly	glycine	SEM	standard error of mean
Hb	hemoglobin		
HEPES	2 [4-(2-hydroxyethyl)-1-piperaziny] ethanesulfonic acid	《Others》	
His	histidine	bp	base pair
Ig	immunoglobulin	MW	molecular weight
Ile	isoleucine	NIH	National Institute of Health
Leu	leucine	OD	optical density
Lys	lysine	UV	ultraviolet
Met	methionine	WHO	World Health Organization
NAD	nicotinamide-adenine dinucleotide		
NADH	reduced form of nicotinamide-adenine dinucleotide		

《mass》	
kilogram	kg
gram	g
Hertz	Hz
microgram	$\mu\text{g}$
mole (gram-molecule)	mol
millimole	mmol
micromole	$\mu\text{mol}$
nanomole	nmol
picomole	pmol
parts per million	ppm
《time》	
hour	hr
minute	min
second	sec
《volume》	
liter	l
milliliter	ml
microliter	$\mu\text{l}$
《length》	
meter	m
centimeter	cm
millimeter	mm
micrometer	$\mu\text{m}$
nanometer	nm

《concentration》	
molar (mol/l)	M
millimolar	mM
micromolar	$\mu\text{M}$
nanomolar	nM
picomolar	pM
《heat, energy, electricity》	
joule	J
degree Celsius (centigrade)	$^{\circ}\text{C}$
ampere	A
volt	V
ohm	$\Omega$
《radiation》	
curie	Ci
counts per minute	cpm
becquerel	Bq
《miscellaneous》	
gravity	g
dissociation constant	Kd
median doses	LD <sub>50</sub> ED <sub>50</sub>
square centimeter	cm <sup>2</sup>



## CONTENTS

<b>Hiroshi Kawasaki :</b>	Five years in Kanazawa .....	1
〔Originals〕		
<b>Syunro Okamoto :</b>	Artificial nerve graft using adipose-derived regenerative cells promotes peripheral nerve regeneration .....	2
<b>Midori Yuki :</b>	Effects of carvedilol pretreatment on mortality and inflammatory responses to septic shock induced by cecal ligation and puncture in rats .....	10
〔Reviews〕		
<b>Naotoshi Sugimoto :</b>	Methylxanthine Derivative and Cognitive Function .....	16
<b>Tomomi Higashide :</b>	Prevention of blindness from glaucoma - our approach through basic research - .....	21
<b>Toshinori Murayama :</b>	Toward the research and development for clinical innovation .....	26
<b>Shinichi Horike, Kazuhiro Shiba :</b>	The 7 <sup>th</sup> Annual Symposium of the Advanced Science Research Center .....	28

複写をご希望の方へ  
金沢大学十全医学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。

本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。但し、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写センター((社)学術著作権協会が社内利用目的の複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあつては、その必要はございません(社外頒布目的の複写については、許諾が必要です)。

権利委託先 一般社団法人学術著作権協会  
〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F  
FAX : 03-3475-5619 E-mail : info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作権の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。

直接、金沢大学十全医学会へお問い合わせ下さい。

問い合わせ先 金沢大学十全医学会  
TEL : 076-265-2131 FAX : 076-234-4208  
E-mail : kenkyu@adm.kanazawa-u.ac.jp

### 金沢大学十全医学会編集委員

土屋弘行(委員長), 赤木紀之, 市村 宏, 絹谷清剛,  
高橋智聡, 中田光俊, 吉村健一

平成30年3月発行  
(日本出版協会会員番号 B111010)

編集者・発行者 土屋弘行  
発行所 金沢大学十全医学会  
〒920-8640  
石川県金沢市宝町13-1  
TEL:(076)265-2131 FAX:(076)234-4208